

「初等中等教育の諸問題」

文部科学省初等中等教育局長による行政説明会の報告

令和元年8月22日、文部科学省において、毎年恒例の文科省初中局長による行政説明会が開催され、入子会長以下本部役員等が出席しました。今年は丸山洋司局長が急な公務のため、代わって矢野和彦大臣官房審議官（初等中等教育担当）から説明を受けました。

文部科学省の行政課題が明らかになると考え、項目のみですが、報告いたします。

（1）教育の情報化の推進について

- ①小学校プログラミング教育の全面実施に向けた取組
- ②情報モラル教育の一層の充実に向けた文科省の取組
- ③学校のICT環境整備に係る地方財政措置
- ④学校のICT環境整備の現状
- ⑤ICT支援員について
- ⑥遠隔教育の推進について

（2）新時代の学びを支える先端技術の活用推進方策について

- ①先端技術・教育ビッグデータが活用される教育現場
- ②現在の学校をめぐる状況と課題
- ③先端技術・ビッグデータの効果的な活用とICT環境の整備について取り組むべき方策
- ④ICT環境整備のあるべき姿と現状と課題
- ⑤SINETの初等中等教育への開放
- ⑥関係者の意識の共有と専門性をもった人材の育成・確保のための取組の推進

今回は、資料としては、学校における働き方改革の推進、新時代の初等中等教育の在り方、いじめ・不登校支援・児童虐待対応などについても用意されていたのですが、時間の関係から上記の問題を中心に解説していただきました。

※詳細は、今年度会報第214号（1月1日発行）に掲載する予定です。

《訂正とお詫び》

全連退情報第168号の記事の中で、文部科学大臣への要望書の、Iの五「国こぞって」は「国民こぞって」です。また、副会長（近畿地区）の名前は正しくは上野清次氏です。お詫びして訂正いたします。